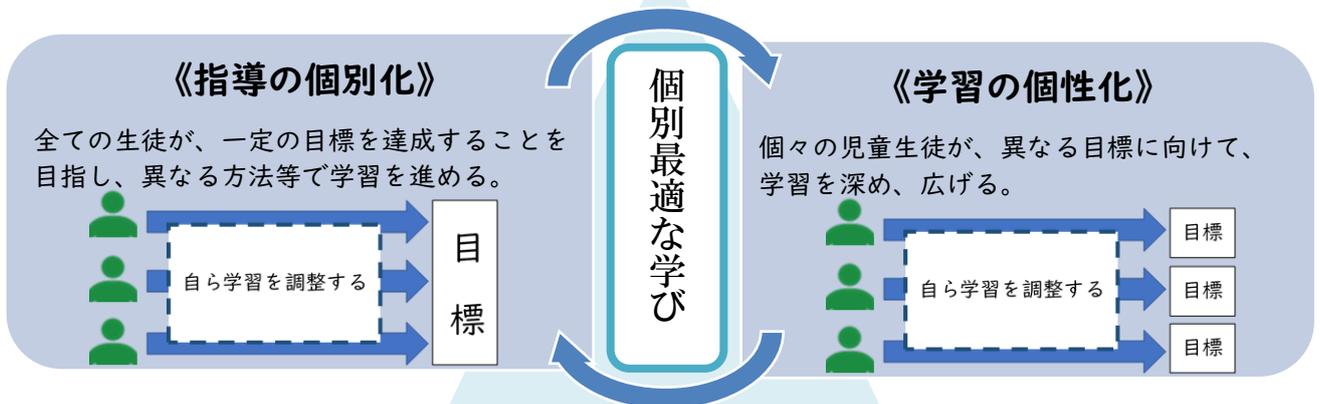
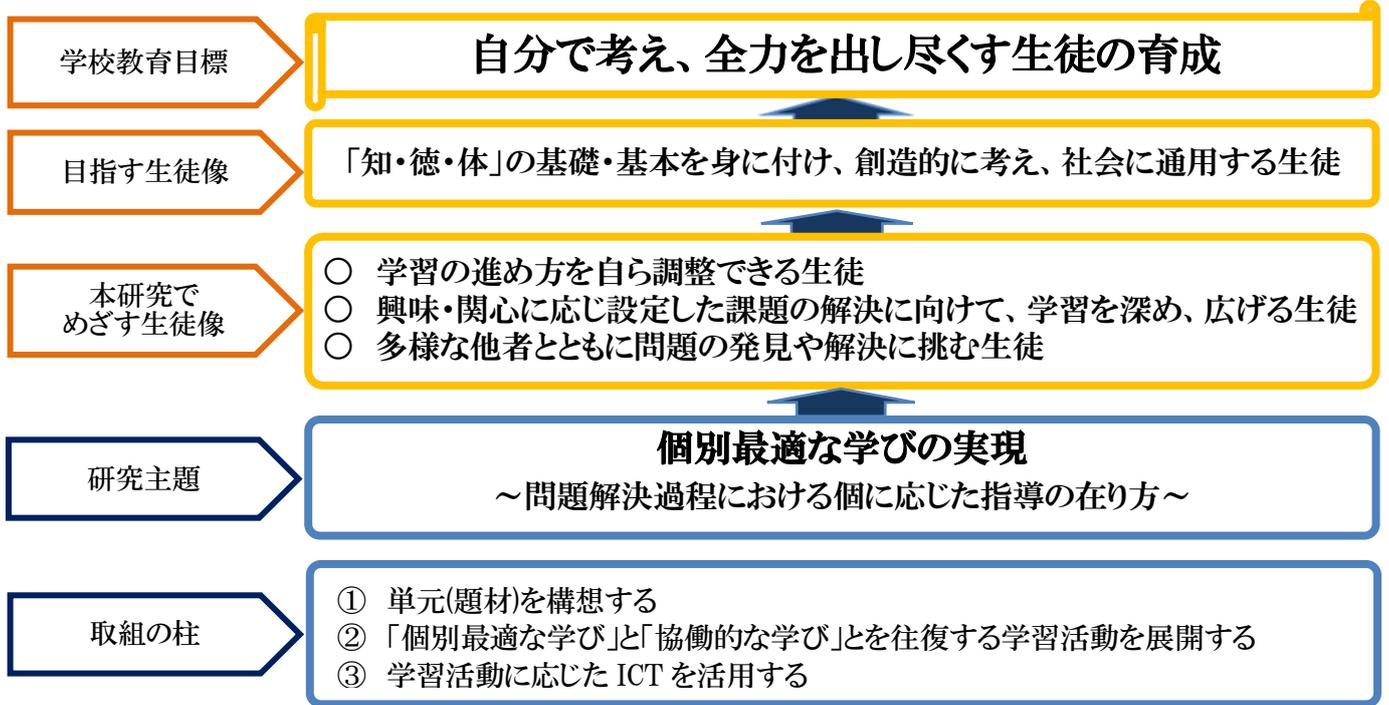


令和6年度 江田島市立能美中学校 研究構想図



《取組のポイント》

ICT …ICTの活用例

学習時間の柔軟な提供・設定

生徒一人一人が、児童生徒一人一人が、それぞれのペースで学習を進めることができるように学習時間の柔軟な提供・設定をする。

ICT 学習履歴をデータ化し蓄積する。

他者に聞くことができる機会の提供

必要などきに、分からないことなどを友達や教師に聞くことができる機会を提供する。

見通しと振り返りの設定

生徒一人一人が、学習の見通しをもったり、学習を振り返ったりする学習活動を計画的に設定する。

ICT 学習履歴をデータ化し蓄積する。

個に応じた教材の提供

生徒が自ら選択して学習を進めることができるように、児童生徒一人一人の特性や学習進度、学習到達度等に応じた教材を提供する。

ICT 学習者用デジタル教科書、学習動画、eboard等、多様な教材を提供する。

個に応じた学習活動の設定

生徒一人一人の学習内容の習熟の程度に応じた学習、補充的な学習や発展的な学習等の学習活動を設定する。

ICT 生徒一人一人が、各自で進めることができるドリル教材を用いたり、インターネットで調べたりして学習をする。

個に応じた学習課題に取り組む機会の提供及び学習環境の整備

生徒一人一人の興味・関心等に応じた学習課題に取り組むことができるようにする。また、その学習課題を解決できるような学習環境を整備する。

ICT 情報の探索、データの処理や視覚化、レポートの作成等を行う。